

中央大学経理研究所——2017・2018年度講座案内

1. A & B フォーラム（会計と経営の研究会）

—会員の方々の知性・感性の錬磨と異業種交流をかねたフォーラム—

企業は、そのヴィジョン（理念）の実現に向けて、環境変化に順応し得る《適応性》、環境変化を洞察し得る《先見性》、新たな環境情報を創出し得る《創造性》を備えた“人財”を必要としています。

研究会は、会員・受講者が高度な「適応性・先見性・創造性」を開発・習得する契機となる《舞台》を提供し、それら能力の開発・習得の基底となる《知見》の形成を手助けすることを目指しています。

○高度な専門的情報の提供の場

研究会では、実務の第一線で活躍する職業会計人、企業実務家、大学または研究機関の研究者を講師として招き、各界・各分野の専門家としての視点から、会員・受講者の《知的好奇心》を鼓舞し、知性・感性を錬磨する幅広い領域の「知」を提供します。

会員・受講者は、講師との間で知的情報を共有するのみならず、講師との質疑応答および会員・受講者相互間での討論を通じて、日常的に抱える問題点の解決策を模索・案出したり、不透明な将来を洞察する発想や示唆を得る機会となることでしょう。

○表現行動の《舞台》と人脈づくりの《機会》の提供の場

「出ないクギは棄てられる」今の時代、研究会は、会員・受講者の“表現”行動を重視し、会員・受講者と講師の間または会員・受講者相互の間での「意見交換」の《舞台》となることを望んでいます。

「演じる」のは、講師のみならず、会員・受講者の皆さまでもあります。そのことが、様々な業種の企業等から参加する意欲的な会員・受講者の相互交流や人的ネットワーク構築の貴重な機会に繋がることと信じます。

2017年度の研究テーマ（通算第243回～第251回）

開催日	テ ー マ	講 師
243回 5/10 (水)	平成29年度税制改正事項の徹底的解説と実務対応 ●経済社会の構造変化を踏まえた個人所得税改革 ●デフレ脱却・経済再生に向けた税制措置 ●ローカルアベノミクスの推進（中堅・中小企業者の支援，地方創生の推進）	税理士 税理士法人平川会計パートナーズ 総括代表社員 平川 忠雄 氏
244回 6/14 (水)	中国消費市場の変化 ●中国人消費者 ●越境 EC ●電子マネー ●生活アプリ ●実店舗の動向	株式会社TNCリサーチ&コンサルティング 代表取締役 呉 明憲 氏
245回 7/12 (水)	平成29年度税制改正と今後の税制改革 ●平成29年度税制改正 ●個人所得課税改革 ●法人課税とコーポレート・ガバナンス ●米国のトランプ税制改革 ●平成30年度税制改正に向けて	一般社団法人 日本経済団体連合会 経済基盤本部長 小畑 良晴 氏
246回 9/13 (水)	コーポレートガバナンス改革と統合報告書 ●社外取締役・監査役からみたコーポレートガバナンス改革 ●上場会社コード対応実態，コンプライ・オア・エクスプレイン ●社外役員の役割，指名・報酬委員会 ●取締役会の機能評価と中長期的企業価値向上への課題 ●CSRレポートから統合報告書へ	公認会計士・税理士 三和 彦幸 氏
247回 10/11 (水)	資産保全と金投資 ●世界を取り巻く市場環境 ●将来リスクと最悪シナリオ ●資産運用の原則：真の分散とは ●金価格の決定要因と金投資	公益社団法人 日本証券アナリスト協会 理事 津金 真理子 氏
248回 11/8 (水)	関係会社の税務 ●関係会社（支配関係）の捉え方 ●グループへの加入・離脱 ●グループ内取引の個別規定 ●グループ内再編 ●連結納税制度	税理士 諸星 健司 氏
249回 1/10 (水)	税務通達について ●租税法律主義 ●内部的拘束力と外部的拘束力 ●通達の読み方 ●緩和通達 ●廃止通達	中央大学商学部教授 酒井 克彦
250回 2/7 (水)	判例等に見る企業のリスク管理と役員の実務 ●リスク ●企業の実務 ●内部統制 ●役員の実務と責任 ●役員自身のリスク管理	日本大学商学部教授 根田 正樹 氏
251回 3/14 (水)	国際税務のトピックス ●国際税務のターニングポイントとなった出来事 ●2019年以降の税制の動向予測 ●1998年以降の20年間の国際税務のトピックス	中央大学商学部教授 矢内 一好

2018年度の研究テーマ（通算第252回～第260回）

開催日	テ ー マ	講 師
252回 5/9 (水)	組織再編税制とM&Aの実務 ●組織再編税制の概要 ●オーナー企業のM&A ●他の内国法人の子会社のM&A ●クロスボーダーのM&A ●零細企業のM&A	公認会計士 佐藤信祐事務所所長 佐藤 信祐 氏
253回 6/13 (水)	企業法務と会社法改正 ●企業法務 ●契約書のレビュー ●会社法改正 ●経営判断 ●弁護士との連携	日本大学（総合科学研究 所）教授 弁護士（みなと協和法律事 務所） 松嶋 隆弘 氏
254回 7/11 (水)	OECDのBEPS（税源浸食・利益移転）プロジェクトとは何か？ ●BEPSの背景とプロジェクトの経緯 ●BEPSプロジェクトの問題点（企業側の視点の欠落） ●15あるBEPS行動計画の中身 ●BEPS行動計画が日本企業に及ぼす影響 ●BEPSがあぶり出す現行国際課税制度の欠陥と今後の展望	オーストラリア公認会計士 OECD諮問委員会日本代 表委員（国際租税担当） 高嶋 健一 氏
255回 9/12 (水)	国際契約の読み方・作成上の留意点 ●国際契約 ●英文契約 ●契約交渉 ●契約書作成	弁護士 赤塚 洋信 氏
256回 10/17 (水)	税制改正の進め方 ●法人税改革などの税制改革 ●政治と官僚と納税者（国民）の間の力学 ●スケジュールと進め方 ●始まりが終わり、終わりが始まり ●今後の課題	PwC 税理士法人 パートナー 審査室長 佐々木 浩 氏
257回 11/14 (水)	企業におけるダイバーシティ推進と働き方改革 ●企業におけるダイバーシティ推進課題 ●多様な人材の活躍を促す制度・風土・マネジメント ●ダイバーシティ推進の前提としての働き方改革 ●働き方改革の進め方 ●ダイバーシティ推進と働き方改革の目指すべき姿	三菱UFJリサーチ&コン サルティング株式会社 執行役員 主席研究員 政策研究事業本部 東京本 部副本部長 兼 共生社会部長 中央大学大学院戦略経営研 究科客員教授 矢島 洋子 氏
258回 1/9 (水)	年金資産運用と資本市場および企業 ●公的年金および企業年金の特徴と資産運用のあらまし ●年金運用の歴史とポートフォリオ運用の理論的背景 ●企業のROEおよび利益成長と株式投資のリターンとの関係 ●年金資産運用とコーポレートガバナンス ●昨今の年金資産運用における話題など（例 ESG 投資）	公益財団法人年金シニアブ ラン総合研究機構 特任研 究員 村上 正人 氏
259回 2/6 (水)	会社はどこでコンプライアンスを失敗するのか ●企業不祥事 ●コンプライアンス・ガバナンスの本当の意味 ●企業リスク管理 ●体制から態勢へ ●社内体制の整備	中央大学大学院戦略経営研 究科教授 杉浦 宣彦 氏
260回 3/13 (水)	AI技術による企業評価：定量・定性分析 ●AIによる企業倒産予知モデル開発 ●企業倒産予知モデルによる企業格付け ●格付け別経営分析 ●自然言語処理による企業倒産予知	筑波学院大学教授 白田 佳子 氏

2. 専門講座

● 趣旨と特色

今年度は、企業の経理マン、会計専門職（公認会計士、税理士）、経営管理担当者を対象とした「財務会計」、「税務会計」、「管理会計」の3つの講座を開講します。これらは、現在の経済・産業界や企業経営の現実が抱えている諸種の問題をタイムリーに採り上げる実践講座で、近年顕著に見られる会計・税務・経営管理の変化に対応する能力の培養を目的とする高品質の講座です。「財務会計講座」では「財務会計における今日的なテーマ」をキーワードに、テーマごとにそれぞれを深く掘り下げ、具体的な実務上の問題点を取り上げながら、演習的な要素も加味して受講者の皆さんの理解を深めていただきます。「税務会計講座」は、経済のグローバル化、国際会計基準の進展にともなう取引や企業会計の変革に対応した課税制度のあり方と税務および法解釈の整合性に重点をおきながら分かりやすく解説していきます。「管理会計講座」は、前期に「管理会計の基礎的理解」に重点を置いて、その内容を具体的に、しかも平易に講義します。後期は、「実践的管理会計の技法」をケーススタディに重点を置き、企業で活躍している方をゲスト講師として呼びしながら理解を深めていく、リアリティに富んだ講座です。

① 財務会計講座（前期）

● 講義方針

本講座では、IFRS（国際財務報告基準）における重要論点を体系的に、プロジェクトの動向なども踏まえながら、分かりやすく解説いたします。まずIFRSを取り巻く状況や基礎となる考え方を総論として紹介し、次に概念フレームワークや財務諸表の構成について解説します。その後、各論として、ほとんどの企業で共通するテーマについて解説します。後半では初度適用の論点・留意点について解説するとともに、最後の1回は、実務界からご出席される方々を想定し、わが国の企業がIFRSを適用する場合の実務上の典型論点をご紹介します。

- 講義時間 原則毎週1～2回（月/水） 午後6時45分～午後8時45分（2017年度）
午後6時40分～午後8時40分（2018年度）

- 講義期間 全10回

- 会場 中央大学駿河台記念館（御茶ノ水）

2017年度 財務会計講座（前期）

開講日	講 義 テ ー マ	講 師
6/19 (月)	日本と IFRS ●日本における IFRS 導入の状況 ●IFRS 導入が我が国の企業に及ぼす影響 他国の状況	有限責任 あずさ監査法人 岸田 由紀子 氏
6/21 (水)	IFRS 総論 ●IFRS の特徴と関連組織 ●IFRS を理解するにあたって 概念フレームワーク ●概念フレームワークの意義と概要 ●概念フレームワーク・プロジェクトの動向	有限責任 あずさ監査法人 伊藤 由季子 氏
6/26 (月)	財務諸表と開示 ●基本財務諸表、セグメント情報、期中報告 ●開示項目 棚卸資産 ●棚卸資産	有限責任 あずさ監査法人 岩永 雅義 氏
6/28 (水)	引当金 ●引当金（資産除去債務を含む） ●偶発負債と偶発資産 法人所得税 ●当期税金 ●繰延税金	有限責任 あずさ監査法人 清王 まつり 氏
7/3 (月)	有形固定資産 ●有形固定資産 無形資産 ●無形資産（ソフトウェア、研究開発費を含む）	有限責任 あずさ監査法人 田村 美奈子 氏
7/5 (水)	減損 ●資産の減損（のれんを含み、金融商品の減損を除く）	有限責任 あずさ監査法人 森居 達郎 氏
7/10 (月)	従業員給付 ●短期従業員給付（有給休暇にかかる負債を含む） ●退職後給付 ●その他の長期従業員給付	有限責任 あずさ監査法人 寺内 隆将 氏
7/19 (水)	リース会計 ●リース会計（新基準の概要を中心に）	有限責任 あずさ監査法人 山本 勝一 氏
7/24 (月)	IFRS の初度適用 ●初度適用に関する規定の概要 ●IFRS を初度適用するにあたっての留意点	有限責任 あずさ監査法人 村山 徹 氏
7/26 (水)	適用上の論点 ●日本企業における典型的な論点（前期のテーマに関するもの）	有限責任 あずさ監査法人 秋山 嘉希 氏

2018年度 財務会計講座（前期）

開講日	講 義 テ ー マ	講 師
6/18 (月)	日本と IFRS ●日本における IFRS 導入の状況 ●IFRS 導入が我が国の企業に及ぼす影響 他国の状況	有限責任 あずさ監査法人 大塚 健治 氏
6/20 (水)	IFRS 総論 ●IFRS の特徴と関連組織 ●IFRS を理解するにあたって 概念フレームワーク ●概念フレームワークの意義と概要 ●概念フレームワーク・プロジェクトの動向	有限責任 あずさ監査法人 岸田 由紀子 氏
6/25 (月)	財務諸表と開示 ●基本財務諸表、セグメント情報、期中報告 ●開示項目 棚卸資産 ●棚卸資産	有限責任 あずさ監査法人 須賀 大介 氏
6/27 (水)	引当金 ●引当金（資産除去債務を含む） ●偶発負債と偶発資産 法人所得税 ●当期税金 ●繰延税金	有限責任 あずさ監査法人 武藤 弘樹 氏
7/4 (水)	有形固定資産 ●有形固定資産 無形資産 ●無形資産（ソフトウェア、研究開発費を含む）	有限責任 あずさ監査法人 丸尾 大樹 氏
7/9 (月)	減損 ●資産の減損（のれんを含み、金融商品の減損を除く）	有限責任 あずさ監査法人 丸尾 大樹 氏
7/18 (水)	従業員給付 ●短期従業員給付（有給休暇にかかる負債を含む） ●退職後給付 ●その他の長期従業員給付	有限責任 あずさ監査法人 山野 良祐 氏
7/23 (月)	リース会計 ●リース会計（新基準の概要を中心に）	有限責任 あずさ監査法人 清王 まつり 氏
7/25 (水)	IFRS の初度適用 ●初度適用に関する規定の概要 ●IFRS を初度適用するにあたっての留意点	有限責任 あずさ監査法人 宇都本 賢二 氏
7/30 (月)	適用上の論点 ●日本企業における典型的な論点（前期のテーマに関するもの）	有限責任 あずさ監査法人 須藤 誠大 氏

② 財務会計講座（後期）

● 講義方針

本講座では、前期に引き続き、IFRS（国際財務報告基準）における重要論点について解説します。テーマは、金融商品関連や企業結合・ジョイントアレンジメント関連など、前期よりもやや深い考察を要するものが多くなります。金融商品会計の解説は、金融機関に所属される方以外の方にも関係するものです。また、収益認識基準や日本企業における典型的な論点についての解説も行います。

最後の回では、IFRS 導入プロジェクトの全体像や主な課題、そしてプロジェクトの進め方についても解説します。

- 講義時間 原則毎週1～2回（月/水） 午後6時45分～午後8時45分（2017年度）
午後6時40分～午後8時40分（2018年度）
- 講義期間 全10回
- 会場 中央大学駿河台記念館（御茶ノ水）

2017年度 財務会計講座（後期）

開講日	講 義 テ ー マ	講 師
10/25 (水)	金融商品① ●金融商品の分類と測定 公正価値測定 ●公正価値測定	有限責任 あずさ監査法人 宇都本 賢二 氏
10/30 (月)	金融商品② ●金融商品の認識及び認識の中止 ●ヘッジ会計 【CPE 認定研修】	有限責任 あずさ監査法人 熊倉 彰宏 氏
11/1 (水)	金融商品③ ●金融資産の減損 外貨換算 ●外貨換算	有限責任 あずさ監査法人 大杉 卓史 氏
11/6 (月)	企業結合 ●企業結合の会計処理 ●特殊論点（段階取得、測定期間、企業結合取引に含めるべきではない取引、等） 【CPE 認定研修】	有限責任 あずさ監査法人 倉田 裕治 氏
11/13 (月)	連結 ●連結の範囲の決定 ●会計処理（連結手続、非支配持分）	有限責任 あずさ監査法人 阿部 良太 氏

11/15 (水)	関連会社・ジョイント・アレンジメント ●関連会社の会計処理 ●ジョイント・アレンジメントの会計処理 収益認識① ●IFRSにおける収益認識（新基準）の概要	有限責任 あずさ監査法人 須藤 誠大 氏
11/20 (月)	収益認識② ●収益認識（新基準）—適用指針を中心に	有限責任 あずさ監査法人 中田 宏高 氏
11/22 (水)	その他の論点 ●売却目的で保有する非流動資産及び非継続事業 ●投資不動産 ●株式報酬	有限責任 あずさ監査法人 内田 梓 氏
11/27 (月)	適用上の論点 ●日本企業における典型的な論点（主に後期のテーマに関するもの）	有限責任 あずさ監査法人 里深 哲也 氏
11/29 (水)	IFRS 導入プロジェクトの進め方 ●IFRS 導入プロジェクトの全体像 ●IFRS 導入の重要ポイントと課題への対応例	有限責任 あずさ監査法人 篠原 謙一 氏

2018年度 財務会計講座（後期）

開講日	講 義 テ ー マ	講 師
10/24 (水)	金融商品① ●金融商品の分類と測定 公正価値測定 ●公正価値測定	有限責任 あずさ監査法人 山野 良祐 氏
10/29 (月)	金融商品② ●金融商品の認識及び認識の中止 ●ヘッジ会計 【CPE 認定研修】	有限責任 あずさ監査法人 岩永 雅義 氏
10/31 (水)	金融商品③ ●金融資産の減損 外貨換算 ●外貨換算	有限責任 あずさ監査法人 須賀 大介 氏
11/5 (月)	企業結合 ●企業結合の会計処理 ●特殊論点（段階取得、測定期間、企業結合取引に含めるべきではない取引、等） 【CPE 認定研修】	有限責任 あずさ監査法人 阿部 良太 氏
11/7 (水)	連結 ●連結の範囲の決定 ●会計処理（連結手続、非支配持分）	有限責任 あずさ監査法人 大塚 健治 氏

11/12 (月)	関連会社・ジョイント・アレンジメント ●関連会社の会計処理 ●ジョイント・アレンジメントの会計処理 収益認識① ●IFRSにおける収益認識（新基準）の概要	有限責任 あずさ監査法人 阿部 良太 氏
11/19 (月)	収益認識② ●収益認識（新基準）—適用指針を中心に	有限責任 あずさ監査法人 宇都本 賢二 氏
11/21 (水)	その他の論点 ●売却目的で保有する非流動資産及び非継続事業 ●投資不動産 ●株式報酬	有限責任 あずさ監査法人 大野 博之 氏
11/26 (月)	適用上の論点 ●日本企業における典型的な論点（主に後期のテーマに関するもの）	有限責任 あずさ監査法人 前田 恒太 氏
11/28 (水)	IFRS 導入プロジェクトの進め方 ●IFRS 導入プロジェクトの全体像 ●IFRS 導入の重要ポイントと課題への対応例	有限責任 あずさ監査法人 熊倉 彰宏 氏

③ 税務会計基礎講座（前期）

● 講義方針

あらゆる経済取引を対象とする税務会計は、経済のグローバル化、国際化の進展に伴う取引の多様化や企業会計の変革に応じた適合性ある課税制度の構築とともに、整合性のある税務の取扱いや法解釈が期待されています。このようなニーズに応じて、会社税務担当者や会計事務所職員を対象として、税務実務の経験豊富な講師が税務会計（会社税務）の基礎を中心として理論と実践の両面から講義します。

- 講義時間 原則毎週1～2回（火/木） 午後6時30分～午後8時30分（2017年度・2018年度共通）
- 講義期間 全10回
- 会場 中央大学駿河台記念館（御茶ノ水）

2017年度 税務会計講座（前期）

開講日	講 義 テ ー マ	講 師
6/15 (木)	法人の課税所得の計算構造 ●企業会計上の利益と法人税法上の所得の違い ●各事業年度の所得の金額の計算 ●益金の額と損金の額 ●税務調整（決算調整・申告調整）	税理士 石井 幸子 氏
6/20 (火)	役員給与を巡る税務 ●定期同額給与・事前確定届出給与の意義 ●利益連動給与の意義 ●役員給与の支給事例の問題点と分析 ●役員給与の判決の問題点 ●役員退職給与の税務	中央大学名誉教授 税理士 大淵 博義 氏
6/22 (木)	交際費等を巡る税務 ●交際費等の損金不算入制度の趣旨 ●交際費等の意義 ●交際費等の範囲と隣接する費用との区分 ●交際費等の損金不算入額の計算	税理士 石井 幸子 氏
6/29 (木)	収益計上時期を巡る税務 ●法人税法22条 ●権利確定主義 ●管理支配基準 ●大竹貿易事件 ●無条件請求権説	中央大学商学部教授 酒井 克彦
7/4 (火)	国際取引を巡る税務 ●海外進出の形態と課税関係 ●非居住者と外国法人に対する課税関係 ●外国税額控除税制度と国際的二重課税 ●タックス・ヘイブン税制と国際的租税回避問題 ●移転価格税制他	日本大学教授 平野 嘉秋 氏
7/6 (木)	減価償却・繰延資産を巡る税務 ●減価償却制度の特色と内容 ●減価償却の具体的税務処理 ●繰延資産の意義 ●繰延資産の具体的税務処理	税理士 平川 茂 氏
7/13 (木)	引当金・圧縮記帳を巡る税務 ●税法上の引当金制度の特色と内容 ●引当金の実践的税務処理 ●圧縮記帳の意義と機能 ●圧縮記帳制度の種類と内容 ●圧縮記帳の経理方法	税理士 中島 孝一 氏
7/18 (火)	寄附金・貸倒損失を巡る税務 ●寄附金の意義と損金不算入制度 ●寄附金を巡るケース・スタディ ●貸倒損失の理論と実務 ●子会社等の救済と寄附金課税	税理士 菅原 英雄 氏
7/20 (木)	消費税について ●消費税の軽減税率制度 ●適格請求書等保存方式 ●近年の改正論点	共栄大学国際経営学部教授・税理士 秋山 高善 氏
7/27 (木)	法人税申告書の機能と作成事例（ケーススタディー） ●会社決算と課税所得（税務調整の仕組み） ●別表4と別表5(1)の機能と関連 ●重要項目の申告書作成のケーススタディー	税理士 坪内 二郎 氏

2018年度 税務会計講座（前期）

開講日	講 義 テ ー マ	講 師
6/14 (木)	法人の課税所得の計算構造 ●企業会計上の利益と法人税法上の所得の違い ●各事業年度の所得の金額の計算 ●益金の額と損金の額 ●税務調整（決算調整・申告調整）	税理士 石井 幸子 氏
6/19 (火)	引当金・圧縮記帳を巡る税務 ●税法上の引当金の取扱い ●引当金に係る経理処理と留意事項 ●圧縮記帳制度の意義 ●圧縮記帳の種類と取扱い ●圧縮記帳に係る経理処理と留意事項	税理士 菅原 英雄 氏
6/21 (木)	交際費等を巡る税務 ●交際費等の損金不算入制度の趣旨 ●交際費等の意義 ●交際費等の範囲と隣接する費用との区分 ●交際費等の損金不算入額の計算	税理士 石井 幸子 氏
7/3 (火)	平成30年度 所得税・法人税等改正の重要項目 ●働き方改革と給与所得控除改正 ●所得再分配と課税最低限 ●引渡基準を巡る法人税法改正 ●法人政策税制の改正 ●事業承継税制から経営承継税制へ	中央大学商学部教授 酒井 克彦
7/5 (木)	減価償却・繰延資産を巡る税務 ●減価償却制度の特色と内容 ●減価償却の具体的税務処理 ●繰延資産の意義 ●繰延資産の具体的税務処理	税理士 平川 茂 氏
7/12 (木)	役員給与を巡る税務 ●定期同額給与・事前確定届出給与等の意義 ●役員給与の支給事例の問題点と分析 ●役員給与の判決・過大給与認定の問題点 ●役員退職給与の税務 ●過大役員退職給与の問題点	中央大学名誉教授 税理士 大淵 博義 氏
7/17 (火)	国際取引を巡る税務 ●海外進出の形態と課税関係 ●非居住者と外国法人に対する課税関係 ●外国税額控除税制度と国際的二重課税 ●タックス・ヘイブン税制と国際的租税回避問題 ●移転価格税制他	日本大学教授 平野 嘉秋 氏
7/19 (木)	消費税について ●消費税の軽減税率制度 ●適格請求書等保存方式 ●近年の改正論点	共栄大学国際経営学部教授・税理士 秋山 高善 氏
7/26 (木)	法人税申告書の機能と作成事例 (別表四・五を中心とした当初・修正申告の基礎) ●企業利益と課税所得 ●別表四と五の基礎 ●当初申告と修正申告の基礎	千葉商科大学 商経学部専任講師 泉 絢也 氏
7/31 (火)	寄附金・貸倒損失を巡る税務 ●寄附金の意義と損金不算入制度 ●寄附金を巡るケース・スタディ ●貸倒損失の理論と実務 ●子会社等の救済と寄附金課税	税理士 菅原 英雄 氏

④ 税務会計応用講座（後期）

● 講義方針

我が国の経済のグローバル化や国際社会の進展，取引の多様化等に伴う会計基準の公表や企業社会のニーズに応じた会社法の改正等，税務会計を取り巻く周辺の学問領域はここ数年で大きく変革しているところです。このような状況の変化に対応した税制改正が行われた結果，税制自体が複雑化してその制度の理解が益々困難となっているのが現状です。本講座では，最近の税制改正や複雑な課税制度の内容や解釈について，税務実務の経験豊富な講師が理論と実務の両面から講義します。

● 講義時間 原則毎週1～2回（火/木） 午後6時30分～午後8時30分（2017年度・2018年度共通）

● 講義期間 全10回

● 会場 中央大学駿河台記念館（御茶ノ水）

2017年度 税務会計講座（後期）

開催日	講義テーマ	講師
10/5 (木)	最近の租税回避事例を巡る議論 ●りそな銀行事件 ●ヤフー事件 ●租税回避の定義 ●租税回避否認論の新たな展開 ●節税開示制度	中央大学商学部教授 酒井 克彦
10/17 (火)	企業組織再編 ●純資産の部と組織再編成 ●欠損金と組織再編成 ●最近の税制改正の概要 ●適格要件と租税回避行為	税理士 菅原 英雄 氏
10/19 (木)	最近の資産評価等を巡る諸問題 ●近年の資産課税の改正内容 ●財産評価基本通達と総則6項 ●事業用小規模宅地の評価を巡る最近の課税事例の検討 ●非上場株式の評価方法を巡る諸問題 ●非上場株式の評価を巡る相続税対策と税務否認事例 ●非上場株式の移動と評価額の低減戦略 ●非上場株式の種類株式の評価方法の明確化	税理士 平川 茂 氏
10/26 (木)	平成29年度 所得税・法人税等改正の重要項目 ●配偶者控除等の見直し ●積立NISA制度の創設 ●研究開発税制・所得拡大促進税制の見直し ●コーポレートガバナンス改革等 ●中堅・中小企業の支援	税理士 中島 孝一 氏
10/31 (火)	国際課税と租税条約 ●租税条約の動向 ●租税条約を巡る実務上の問題点	中央大学商学部教授 矢内 一好

11/2 (木)	海外進出の税務 ●海外進出する前の税務 ●海外進出中の税務 ●海外から撤退する場合の税務 ●海外進出した場合の個人の税務：所得税 ●海外進出した場合の個人の税務：相続税及び贈与税	税理士 高山 政信 氏
11/9 (木)	自己株式のみなし配当課税と相続税納税資金対策としての活用 ●自己株式の取得・処分・消却の法務、会計及び税務 ●みなし配当課税の考え方と法人税申告書への記載 ●相続税の納税資金対策としての自己株式の活用 【CPE 認定研修】	公認会計士・税理士 棟田 裕幸 氏
11/14 (火)	グループ法人税制 ●譲渡損益調整資産の繰延べと戻入れ ●グループ法人間の寄附金 ●完全子法人からの配当と株式譲渡損益の取扱い ●グループ法人税制と清算税制 【CPE 認定研修】	税理士 菅原 英雄 氏
11/16 (木)	租税訴訟事例の分析 ●馬券訴訟 ●年金二重課税訴訟 ●土地二重課税訴訟 ●更正の予知 ●重加算税の賦課決定	中央大学商学部教授 酒井 克彦
11/28 (火)	国際課税を巡る最近の課税事例の諸問題 ●BEPS等の国際税務の動向 ●国際税務に係る最近の課税事例とその問題点	中央大学商学部教授 矢内 一好

2018年度 税務会計講座（後期）

開催日	講 義 テ ー マ	講 師
10/16 (火)	最近の租税回避事例を巡る議論 ●節税・脱税・租税回避 ●組織再編・繰越欠損金を利用した租税回避 ●ヤフー事件後の事例	千葉商科大学 商経学部専任講師 アコード租税総合研究所研 究顧問 泉 絢也 氏
10/18 (木)	最近の資産評価等を巡る諸問題 ●近年の資産課税の改正内容 ●財産評価基本通達と総則6項 ●事業用小規模宅地の評価を巡る最近の課税事例の検討 ●非上場株式の評価方法を巡る諸問題 ●非上場株式の評価を巡る相続税対策と税務否認事例 ●非上場株式の移動と評価額の低減戦略 ●非上場株式の種類株式の評価方法の明確化	税理士 平川 茂 氏
10/25 (木)	国際課税と租税条約 ●租税条約の動向 ●租税条約を巡る実務上の問題点	元中央大学商学部教授 矢内 一好 氏
11/6 (火)	企業組織再編 ●純資産の部と組織再編成 ●欠損金と組織再編成 ●最近の税制改正の概要 ●適格要件と租税回避行為	税理士 菅原 英雄 氏

11/8 (木)	海外進出の税務 ●海外進出する前の税務 ●海外進出中の税務 ●海外から撤退する場合の税務 ●海外進出した場合の個人の税務：所得税 ●海外進出した場合の個人の税務：相続税及び贈与税	税理士 高山 政信 氏
11/15 (木)	自己株式のみなし配当課税と相続税納税資金対策としての活用 ●自己株式の取得・処分・消却の法務、会計及び税務 ●みなし配当課税の考え方と法人税申告書への記載 ●相続税の納税資金対策としての自己株式の活用 【CPE 認定研修】	公認会計士・税理士 棟田 裕幸 氏
11/20 (火)	グループ法人税制 ●譲渡損益調整資産の損益の繰延べと戻入れ ●グループ法人間の寄附金 ●完全子法人からの配当と株式譲渡損益の取扱い ●グループ法人税制と清算税制 【CPE 認定研修】	税理士 菅原 英雄 氏
11/22 (木)	国際課税を巡る最近の課税事例の諸問題 ●BEPS等の国際税務の動向 ●国際税務に係る最近の課税事例とその問題点	元中央大学商学部教授 矢内 一好 氏
11/27 (火)	収益計上時期を巡る税務 ●法人税法22条 ●権利確定主義と管理支配基準 ●一般に公正妥当と認められる会計処理の基準の判断アプローチ ●無条件請求権説とIFRS15号 ●平成30年度税制改正	中央大学商学部教授 酒井 克彦
11/29 (木)	租税訴訟事例の分析 ●所得区分を巡る事件 ●交際費課税を巡る事件 ●一般に公正妥当と認められる会計処理の基準を巡る事件 ●相続・事業承継を巡る事件 ●加算税の賦課決定を巡る事件	中央大学商学部教授 酒井 克彦

⑤ 管理会計は誰のためのものか？（前期）

● 講義方針

時代や環境の変化のなかから、課題を見つけ経営のツールを産み出すことが現在の管理会計です。知識習得だけでは、即、業務において役立ちにくい面もありますが、まずは必要な基礎知識の確実な修得が不可欠です。管理会計に対する意識や基礎的知識が、業務における理解や活用力を左右し、ひいては企業経営の成否を決定することになります。自分の頭で考えることが好きな方は、是非本講座にご参加ください。

管理会計は、誰のものか？この全10回の講義を通じてあなたの答えをみつけてください。講師は全員、会計分野での講義経験を積んだプロの講師です。

● 講義時間 原則毎週1～2回（火/金） 午後6時45分～午後8時45分（2017年度）

午後 6 時 40 分～午後 8 時 40 分（2018 年度）

- 講義期間 全10回
- 会 場 中央大学駿河台記念館（御茶ノ水）

2017年度 管理会計講座（前期）

開催日	講 義 テ ー マ	講 師
6/2 (金)	<p>管理会計は誰のためのものか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●投資家の目線、経営者の目線とは？ ●勝っている経営と負けている経営（$PBR = ROE \times PER$） ●財務分析の視点から管理会計を捉え直す（利益目標管理の全体像） ●利益を生むのが管理会計の目的である ●ROE を高めるには？（レバレッジと ROA） ●管理会計の本質と勉強の仕方 	(株)インプレッション・ラーニング 吉成 英紀 氏
6/9 (金)	<p>企業の予算管理と利益管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ●経営戦略と予算との関係 ●予算策定の基本プロセス ●予算管理とは ●利益計画と CVP 分析 	(株)インプレッション・ラーニング 藤木 隆弘 氏
6/16 (金)	<p>コストマネジメント①</p> <ul style="list-style-type: none"> ●原価計算の基本概念 ●標準原価計算 ●個別原価計算 ●総合原価計算 	(株)インプレッション・ラーニング 洞口 智行 氏
6/23 (金)	<p>コストマネジメント②</p> <ul style="list-style-type: none"> ●原価計算の限界 ●活動基準原価管理 ●活動基準原価計算 ●原価企画と VE 	(株)インプレッション・ラーニング 洞口 智行 氏
6/27 (火)	<p>設備投資の意思決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ●フリーキャッシュフロー ●貨幣の時間的価値 ●回収期間法 ●正味現在価値法 	(株)インプレッション・ラーニング 藤木 隆弘 氏
6/30 (金)	<p>価値の算定とリスクへの対処</p> <ul style="list-style-type: none"> ●株式価値の考え方 ●企業価値の考え方 ●リスクとリターン、ポートフォリオ 	(株)インプレッション・ラーニング 藤木 隆弘 氏
7/7 (金)	<p>コストマネジメント③</p> <ul style="list-style-type: none"> ●直接原価計算と事業部の業績評価 ●バランススコアカード ●制約条件の理論とスループット会計 	(株)インプレッション・ラーニング 洞口 智行 氏
7/11 (火)	<p>知っておきたい管理会計の実務と教科書の違い①</p> <ul style="list-style-type: none"> ●数字を見ていても儲からない ●利益の源泉 ●戦略論なくして、いかなる管理会計も無意味 	(株)インプレッション・ラーニング 吉成 英紀 氏
7/25 (火)	<p>知っておきたい管理会計の実務と教科書の違い②</p> <ul style="list-style-type: none"> ●リスク管理がなぜ管理会計のテーマなのか？ ●ハイリスク・ハイリターンの本質 ●利益を生むためのリスク管理 	(株)インプレッション・ラーニング 吉成 英紀 氏
7/28 (金)	<p>知っておきたい管理会計の実務と教科書の違い③</p> <ul style="list-style-type: none"> ●管理会計の陥りやすいポイント ●開発、製造（コスト削減の落とし穴等） ●安売りとは？「値段」を再考 ●償却の落とし穴と先行投資に注意 ●仕入れ 	(株)インプレッション・ラーニング 吉成 英紀 氏

2018年度 管理会計講座（前期）

開催日	講 義 テ ー マ	講 師
6/1 (金)	<p>管理会計は誰のためのものか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●投資家の目線、経営者の目線とは？ ●勝っている経営と負けている経営（PBR=ROE×PER） ●財務分析の視点から管理会計を捉え直す（利益目標管理の全体像） ●利益を生むのが管理会計の目的である ●ROEを高めるには？（レバレッジとROA） ●管理会計の本質と勉強の仕方 	(株)インプレッション・ラーニング 吉成 英紀 氏
6/8 (金)	<p>企業の予算管理と利益管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ●経営戦略と予算との関係 ●予算策定の基本プロセス ●予算管理とは ●利益計画とCVP分析 	(株)インプレッション・ラーニング 藤木 隆弘 氏
6/12 (火)	<p>コストマネジメント①</p> <ul style="list-style-type: none"> ●原価計算の基本概念 ●標準原価計算 ●個別原価計算 ●総合原価計算 	(株)インプレッション・ラーニング 洞口 智行 氏
6/15 (金)	<p>コストマネジメント②</p> <ul style="list-style-type: none"> ●原価計算の限界 ●活動基準原価管理 ●活動基準原価計算 ●原価企画とVE 	(株)インプレッション・ラーニング 洞口 智行 氏
6/22 (金)	<p>設備投資の意思決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ●フリーキャッシュフロー ●貨幣の時間的価値 ●回収期間法 ●正味現在価値法 	(株)インプレッション・ラーニング 藤木 隆弘 氏
6/29 (金)	<p>価値の算定とリスクへの対処</p> <ul style="list-style-type: none"> ●株式価値の考え方 ●企業価値の考え方 ●リスクとリターン、ポートフォリオ 	(株)インプレッション・ラーニング 藤木 隆弘 氏
7/6 (金)	<p>コストマネジメント③</p> <ul style="list-style-type: none"> ●直接原価計算と事業部の業績評価 ●バランストスコアカード ●制約条件の理論とスループット会計 	(株)インプレッション・ラーニング 洞口 智行 氏
7/20 (金)	<p>知っておきたい管理会計の実務と教科書の違い①</p> <ul style="list-style-type: none"> ●数字を見ても儲からない ●利益の源泉 ●戦略論なくして、いかなる管理会計も無意味 	(株)インプレッション・ラーニング 吉成 英紀 氏
7/24 (火)	<p>知っておきたい管理会計の実務と教科書の違い②</p> <ul style="list-style-type: none"> ●リスク管理がなぜ管理会計のテーマなのか？ ●ハイリスク・ハイリターンの本質 ●利益を生むためのリスク管理 	(株)インプレッション・ラーニング 吉成 英紀 氏
7/27 (金)	<p>知っておきたい管理会計の実務と教科書の違い③</p> <ul style="list-style-type: none"> ●管理会計の陥りやすいポイント ●開発、製造（コスト削減の落とし穴等） ●安売りとは？「値段」を再考 ●償却の落とし穴と先行投資に注意 ●仕入れ 	(株)インプレッション・ラーニング 吉成 英紀 氏

⑥ 管理会計の具体的展開—経営管理 (Management Control), あなたならどうするか? (後期)

● 講義方針

後期全10回の前半5回では「講義・演習編」として、ケーススタディを中軸として受講者自身の実践的挑戦を導きます。これにより「顧客と提供価値」「戦略」「業務」「PDCA」「人・組織」「仕組み・制度」といったポイントを押さえ、経営企画管理、事業企画管理、管理会計スタッフが考え支援すべき経営・事業の管理 (Management Control) を考えていきます。

後半5回では、「事例研究編」として、企業とそこで働く人々の事例から、生きた経営管理・管理会計を学びます。ここでは前半5回の講義を前提としながら、企業で実際に活躍する実務家をゲスト・スピーカーとして招き、彼らの体験的な話から生きた経営現場での実務や経験を吸収し、これを受講者各人の実務に照らして役立てていただくことを意図します。

- 講義時間 原則毎週1～2回 (火/金) 午後6時45分～午後8時45分 (2017年度)
午後6時40分～午後8時40分 (2018年度)

- 講義期間 全10回

- 会場 中央大学駿河台記念館 (御茶ノ水)

2017年度 管理会計講座 (後期)

講義・ケーススタディ編

開講日	講義テーマ	講師
10/6 (金)	経営・事業を理解する。経営における経営管理、管理会計の重要ポイント ●ケーススタディ ●経営の目的「顧客の創造」 ●経営の企画・管理の仕組みと経営管理プロセス(計画とモニタリング) ●組織・ポジション, 会議体, 経営管理単位 ●経営の改善と改革	(株)価値共創 伊藤 武志 氏
10/10 (火)	財務と事業の現状・課題を押さえる～Check, Action, Plan その1～ ●ケーススタディ ●財務と事業の目標, 方針の仮設定 ●財務と事業の現状分析(経営分析, 収益性分析, CVP分析, SWOT分析など) ●財務と事業の課題の抽出と優先順位付け	(株)価値共創 伊藤 武志 氏
10/13 (金)	財務と事業の目標・戦略・KPI・施策を考える～Check, Action, Plan その2～ ●ケーススタディ ●ドメイン・顧客提供価値・ポジショニングの設定 ●ビジネスモデルの設計 ●利益計画の進め方 ●シナリオとリスク	(株)価値共創 伊藤 武志 氏

10/20 (金)	<p>事業と投資の評価とポートフォリオを考える</p> <p>●ケーススタディ ●投資評価と意思決定 ●NPV・DCFやEVA</p> <p>●企業・事業価値評価 ●事業・投資のポートフォリオの分析・検討・改善・管理</p>	<p>(株)価値共創 伊藤 武志 氏</p>
10/24 (火)	<p>戦略・財務・業務を管理し、成果を評価する</p> <p>●ケーススタディ ●経営管理指標（内部と外部）</p> <p>●予測を含めた組織の定期的なレビュー</p> <p>●業績評価制度と評価基準、バランスト・スコアカード</p> <p>●利益・業績の管理の責任単位</p>	<p>(株)価値共創 伊藤 武志 氏</p>

事例研究編

開講日	講 義 テ ー マ	講 師
10/27 (金)	<p>【株式会社ジェイ・スポーツ】</p> <p>ゲストスピーカー：経営戦略部 田中 正嗣 氏</p> <p>講演テーマ：「J SPORTSにおける経営管理と新規事業の取組について」</p>	<p>(株)価値共創 伊藤 武志 氏</p>
11/7 (火)	<p>【住友大阪セメント株式会社】</p> <p>ゲストスピーカー：知的財産部 星野 春彦 氏</p> <p>講演テーマ：「住友大阪セメント(株)環境価値創造」</p>	<p>(株)価値共創 伊藤 武志 氏</p>
11/10 (金)	<p>【株式会社NTT ビジネスブレインズ（株式会社NTT データ）】</p> <p>ゲストスピーカー：製造 IT イノベーション 事業本部 掛谷 一夫 氏</p> <p>講演テーマ：「NTT データの経営管理」</p>	<p>(株)価値共創 伊藤 武志 氏</p>
11/21 (火)	<p>【オムロン株式会社】</p> <p>ゲストスピーカー：経営 IR 部 奥村 俊次 氏</p> <p>講演テーマ：「オムロンのマネジメント体制と運営（ガバナンス、ROIC 経営、IR 活動）」</p>	<p>(株)価値共創 伊藤 武志 氏</p>
11/24 (金)	<p>【住友商事株式会社】</p> <p>ゲストスピーカー：ICT 事業本部 IT サービス事業部 小久保 岳人 氏</p> <p>講演テーマ：「海外における新事業立ち上げと成長期のマネジメント」</p>	<p>(株)価値共創 伊藤 武志 氏</p>

2018年度 管理会計講座（後期）

講義・ケーススタディ編

開講日	講 義 テ ー マ	講 師
10/2 (火)	経営・事業を理解する。経営における経営管理，管理会計の重要ポイント ●ケーススタディ ●経営の目的「顧客の創造」 ●経営の企画・管理の仕組みと経営管理プロセス（計画とモニタリング） ●組織・ポジション，会議体，経営管理単位 ●経営の改善と改革	大阪大学教授 伊藤 武志 氏
10/5 (金)	財務と事業の現状・課題を押さえる～Check, Action, Plan その1～ ●ケーススタディ ●財務と事業の目標，方針の仮設定 ●財務と事業の現状分析（経営分析，収益性分析，CVP分析，SWOT分析など） ●財務と事業の課題の抽出と優先順位付け	大阪大学教授 伊藤 武志 氏
10/12 (金)	財務と事業の目標・戦略・KPI・施策を考える～Check, Action, Plan その2～ ●ケーススタディ ●ドメイン・顧客提供価値・ポジショニングの設定 ●ビジネスモデルの設計 ●利益計画の進め方 ●シナリオとリスク	大阪大学教授 伊藤 武志 氏
10/19 (金)	事業と投資の評価とポートフォリオを考える ●ケーススタディ ●投資評価と意思決定 ●NPV・DCFやEVA ●企業・事業価値評価 ●事業・投資のポートフォリオの分析・検討・改善・管理	大阪大学教授 伊藤 武志 氏
10/26 (金)	戦略・財務・業務を管理し，成果を評価する ●ケーススタディ ●経営管理指標（内部と外部） ●予測を含めた組織の定期的なレビュー ●業績評価制度と評価基準，バランス・スコアカード ●利益・業績の管理の責任単位	大阪大学教授 伊藤 武志 氏

事例研究編

開講日	講 義 テ ー マ	講 師
10/30 (火)	【ナブテスコ株式会社】 ゲストスピーカー：コーポレート・コミュニケーション部 広報・CSR担当参事 齊藤 伸太郎 氏 講演テーマ：「ナブテスコのIRと統合報告」	大阪大学教授 伊藤 武志 氏
11/2 (金)	【東洋インキ SC ホールディングス株式会社】 ゲストスピーカー：グループ経営部 新事業開発担当マネージャー 秦野 望 氏 講演テーマ：「経営理念に基づく新規事業戦略と経営管理」	大阪大学教授 伊藤 武志 氏
11/9 (金)	【協和発酵キリン株式会社】 ゲストスピーカー：執行役員 経営戦略企画部部长 村田 涉 氏 講演テーマ：「協和発酵キリンの経営管理」	大阪大学教授 伊藤 武志 氏

11/13 (火)	【KOA 株式会社】 ゲストスピーカー：経営管理イニシアティブ 経営戦略センター経営戦略グループ プロフィットマネージャー 山本 容平 氏 講演テーマ：「KOA における経営管理プロセス」	大阪大学教授 伊藤 武志 氏
11/30 (金)	【CFO 協会】 ゲストスピーカー：主任研究委員 石橋 善一郎 氏 講演テーマ：「CFO と戦略管理」	大阪大学教授 伊藤 武志 氏

3. 日商簿記講座（3級・2級）

● 趣旨と特色

簿記は、企業の経営活動の成果を把握するための重要な手段であり、その結果として作成される財務諸表は企業の内外に対して、有害な会計情報を提供するものです。この財務諸表に基づき企業の財政状態および経営成績がわかり、企業の成長性・安全性を判断することができます。日商簿記3・2級講座では、簿記を始めて勉強される方でも「簿記の基礎」から「決算」さらには「工業簿記」まで学ぶことができ、日商簿記検定試験に合格するための実力を養成します。講義はインターネットを通じて配信します。

① 日商簿記3級講座

● 開講期間

2017年度	2018年度
合格目標月（WEB 視聴期間）	合格目標月（WEB 視聴期間）
【Ⅰ期】2017年6月（2017年4月～2017年6月）	【Ⅰ期】2018年6月（2018年4月～2018年6月）
【Ⅱ期】2017年11月（2017年9月～2017年11月）	【Ⅱ期】2018年11月（2018年9月～2018年11月）
【Ⅲ期】2018年2月（2017年12月～2018年2月）	【Ⅲ期】2019年2月（2018年12月～2019年2月）

● カリキュラム

〈2017年度〉

講義 (Input)	
ステップ I 講義と演習問題で知識を習得	ステップ II 問題演習・過去問を通じ知識を定着
第1章 簿記の基礎 第2章 現金預金 第3章 商品売買 第4章 債権・債務 第5章 手形 第6章 有価証券と固定資産 第7章 資本金と税金 第8章 決算 第9章 伝票式会計	第2章 現金預金 第3章 商品売買 第4章 債権・債務 第5章 手形 第6章 有価証券と固定資産 第7章 資本金と税金 第8章 決算 第9章 伝票式会計 第10章 帳簿組織 第11章 応用論点 過去問題対策

その他 演習問題 (Output) / 模擬試験全10回

〈2018年度〉

講義 (Input)	
ステップ I 講義と演習問題で知識を習得	ステップ II 講義と演習問題で知識を習得
第1章 簿記の基礎 第2章 現金預金 第3章 商品売買 第4章 債権・債務 第5章 手形 第6章 有価証券と固定資産 第7章 資本金と税金 第8章 決算 第9章 伝票式会計	第2章 現金預金 第3章 商品売買 第4章 債権・債務 第5章 手形 第6章 有価証券と固定資産 第7章 資本金と税金 第8章 決算 第9章 伝票式会計 第10章 帳簿組織 第11章 応用論点 [過去問題対策] 第2問, 第4問対策

その他 演習問題 (Output) / 模擬試験全10回

② 日商簿記2級講座

● 開講期間

2017年度	2018年度
合格目標月（WEB視聴期間）	合格目標月（WEB視聴期間）
【Ⅰ期】2017年6月（2016年11月～2017年6月） 【Ⅱ期】2017年11月（2017年4月～2017年11月） 【Ⅲ期】2018年2月（2017年7月～2018年2月）	【Ⅰ期】2018年6月（2017年11月～2018年6月） 【Ⅱ期】2018年11月（2018年4月～2018年11月） 【Ⅲ期】2019年2月（2018年7月～2019年2月）

● カリキュラム

〈2017年度〉

講義（Input）	
ステップⅠ 講義と演習問題で知識を習得	ステップⅡ 問題演習・過去問を通じ知識を定着
<p>【商業簿記】 序章 株式会社の簿記 第1章 現金預金 第2章 棚卸資産 第3章 債権債務 第4章 有価証券 第5章 固定資産 第6章 引当金 第7章 純資産 第8章 損益と税金</p> <p>【工業簿記】 第1章 工業簿記の基礎 第2章 個別原価計算 第3章 総合原価計算 第4章 費目別計算① 第5章 製造業の財務諸表 第6章 費目別計算② 第7章 部門別計算 第8章 標準原価計算 第9章 原価・営業量・利益関係の分析 第10章 工場会計の独立 第11章 直接原価計算</p> <p>【構造簿記】 第1章 本支店会計 第2章 連結会計 第3章 企業結合</p>	<p>【商業簿記】 第1章 現金預金 第2章 棚卸資産 第3章 債権債務 第5章 固定資産 第6章 引当金 第7章 純資産 第8章 損益と税金 第9章 月次決算 第10章 応用論点</p> <p>【工業簿記】 第12章 応用論点</p> <p>【構造簿記】 第1章 本支店会計 第2章 連結会計 第4章 応用論点</p>

その他 演習問題（Output）／模擬試験全10回

〈2018年度〉

講義 (Input)		
ステップⅠ 講義と演習問題で知識を習得	ステップⅡ 講義と演習問題で知識を習得	ステップⅢ 講義と演習問題で知識を習得
はじめに [① 一般簿記Ⅰ] 序章 株式会社の簿記 第1章 現金預金 第2章 棚卸資産 第3章 債権債務 第4章 有価証券 第5章 固定資産 第6章 引当金 第7章 純資産 第8章 損益と税金 [② 工業簿記Ⅰ] 第1章 工業簿記の基礎 第2章 個別原価計算 第3章 総合原価計算 第4章 費目別計算① 第5章 製造業の財務諸表 第6章 費目別計算② 第7章 部門別計算 第8章 標準原価計算 第9章 原価・営業量・利益関係の分析 第10章 工場会計の独立 第11章 直接原価計算	[③ 一般簿記Ⅱ] 第1章 現金預金 第2章 棚卸資産 第3章 債権債務 第5章 固定資産 第6章 引当金 第7章 純資産 第8章 損益と税金 第9章 月次決算 [④ 構造簿記Ⅰ] 第1章 本支店会計 第2章 企業結合	[⑤ 工業簿記Ⅱ] 第12章 工業簿記【応用論点】 [⑥ 一般簿記Ⅲ] 第8章 損益と税金 第10章 一般簿記【応用論点①】 [⑦ 連結会計Ⅰ] 第1章 連結会計【連結修正仕訳】 [⑧ 連結会計Ⅱ] 第2章 連結会計【総合問題】
		ステップⅣ 講義と演習問題で知識を習得

その他 演習問題 (Output) / 模擬試験全10回

4. 簿記・会計講座

〈多摩キャンパス〉

① 簿記会計講座

● 趣 旨

「簿記会計講座」は、簿記会計の基礎から応用までを学び、日商簿記検定1級と全経上級合格を目指す講座です。なお、日商簿記検定3級・2級・1級検定試験合格を単独で目指す人には、「3級」「2級」「1級」のみ選択して受講するプランも用意しています。

② 簿記会計上級講座

● 趣 旨

「簿記会計上級講座」は、簿記会計講座の受講経験者を対象に、11月の日商簿記1級検定試験合格を目指したカリキュラムです。この講座は、簿記会計講座の学習をさらに確実に理解し、どのよ

うな問題にも対応できる応用的・実践的な学習を行い、合格を確実にしようとする講座です。なお、公認会計士の短答式試験にも対応しているため、その後公認会計士を希望する場合にも役立つ講座です。

③ 公認会計士講座

● 趣 旨

「公認会計士講座」は、最初から公認会計士試験合格を目指す講座です。基本は大学3年時での合格を目標にしたカリキュラム編成ですが、より早く大学2年時で現役合格、より確実に大学4年次で現役合格するカリキュラムも整備されており、各自の将来の目標や学習計画・進捗に合わせて選択できるよう、それぞれのコース内に学習プランを設定しています。

④ 税理士基礎コース（簿記会計講座受講修了者対象）

● 趣 旨

「税理士基礎コース」は、基本となる会計科目（「簿記論」と「財務諸表論」）の学習に重点を置き、引き続き「租税法」を学ぶことによって税法の基礎を修得し、各自の年次計画と受験科目選択に基づく個別学習に備えるコースです。

〈Web 講座〉

● Web 簿記セミナー

● 趣 旨

就職活動や就職後の備えとして簿記検定対策講座を開講しています。対象は中央大学の学生とし、日商簿記検定3級・2級の取得を目指す講座です。講義はWebにて配信するので通学は不要です。パソコン、スマホ、タブレットで受講可能です。

〈簿記・会計講座担当講師〉

小島 一富士、安藤 大樹、岡本 進、上出 亮、関口 高弘、古田 満正、門田 隆太郎、吉田 和広、横田 昌彦

中央大学出身者公認会計士第二次試験合格者数（2006年度公認会計士試験制度改正前）

年度	1949	1950	1951	1952	1953	1954	1955	1956	1957	1958	1959	1960
人数	8	17	16	8	20	20	21	10	25	30	32	32
年度	1961	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971	1972
人数	37	36	26	39	42	47	53	38	40	29	51	47
年度	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984
人数	16	62	65	24	45	23	25	29	22	15	20	29

年度	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996
人数	22	42	37	38	38	46	50	40	47	29	41	39
年度	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005			
人数	38	34	47	60	59	94	76	76	108			

経理研究所出身者公認会計士試験合格者数（2006年度公認会計士試験制度改正後）

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
人数	43	119	134	124	119	71	86	72	75	51	79	60

* 上記合格者数には、旧第2次試験合格者の短答式試験みなし合格者は含みません。

